

なんだ・かんだ

◆ 4月16日 ◆

営業部二課 武田亜子

前震は、2016年4月14日21時26分。当時私は熊本市東区在住で、その時は隣の中央区にあるスポーツジムのシャワーブースにいました。居合わせた方々と「地震?どこで?」という会話をしたほど何が起きたのか解りませんでした。震度7を、脳が処理できなかった。

その晩は怖くて建物の中におられず、車で寝る。翌15日(金)、当時の職場で「これで終わりかとは分からない」と話したことを覚えています。夜は、前夜ろくに眠れなかったため悩んだ末に家の中で寝ることに。スニーカーを履いたまま、家の鍵とスマホをポシェットに入れ、それを身に着けて横になる。

2016年4月16日01時26分に本震発生。緊急地震速報は、揺れより少し遅く鳴り始めました。直下すぎて間に合わなかったんだと思います。長く揺れ、その間は何もできない。近くに住む同僚の一家と合流。深夜の屋外は寒く、4月の九州なのにダウンジャケット。震度5以上の余震は、地面が波打つ様子が見てわかります。

16日晚から大雨の予報だったため、同僚の二家族とともに一旦九州を出ることに決め、車で下関のホテルに向かいました。続く大きな余震に加え大雨となれば、子どもたちを連れての避難は困難だろうということと大人の自分たちも、一旦落ち着きたかったから。どの道が通行可能か、どこなら今でも制限なく給油できるかを調べてから出発。大渋滞。下関も余震で揺れるが震度は低い。一泊。

皆と別れて、私はそのまま車で沼津まで行くことに。各地からの緊急援助車両とすれ違くと、悲しくて涙が出ました。私だけが遠くへ逃げる。できるなら被災した全員を連れて、熊本から出たかった。

しばらく東京本社へ出社し、東京から九州支店の業務と被災支援にあたる。会社より「御見舞金を出すので九州支店で表書きしてもらうように」との指示。怒りが湧いて、私が全て書いて送る。直後の被災地にそんなことさせるわけにいかない。感度の差は、しかたがないし責められない。度々起こるこういうことが、心にきつかった。

農繁期に皆で作業する様な地域に住む社員は「周囲の目があるので」という理由で、会社からの支援物資を受け取らなかった。「子供が私から離れようとしないう」という理由で、なかなか出社できない人もいた。

マンションの退去と諸手続きのため、7月に熊本へ戻る。ブルーシートをかけた家がまだかなりあったし、災害ゴミの受付も継続中。様々な感情の渦の中において、地震後の記憶は曖昧です。

新幹線。こだま停車中に のぞみ に追い抜かれる時の凄い速さで近づいてきてグワンと回されかけるような揺れ方が、本震に似ている。

前震の直後、益城に住んでいた同僚が電話をくれました。心細かったから嬉しかった。「亜子さん大丈夫?一人だと心細いでしょ」ありがたう、そちらは?すごく揺れたよね?「家族は無事だけど、家はもうダメ。住まれないよ」

益城は震源地です。状況は私の比じゃなかった。本震が来るのは まだこのあと。一生忘れられないと思う。気遣いながら私と話をしてくれたことが、彼女自身の不安解消にもなっていたのであれば、だとすれば、救われます。



■ 住宅省エネ関連補助金 ■

「子育てエコホーム支援事業」「先進的窓リノベ2024事業」「給湯省エネ2024事業」「賃貸集合給湯省エネ2024事業」など、住宅の新築・改修工事について、個人や集合住宅のオーナー様等対象に補助金が出ます。

断熱に関わる工事、高効率の給湯器への更新、手すりの設置や段差の解消などバリアフリーに関する工事、ビルトイン食器洗い機・浴室乾燥機など家事負担軽減につながる設備の設置、防犯に関する開口部の改修等々、いくつかある補助金の一部ですが、改修工事等ご予約のある方ご検討下さい。

業務の効率化

4月だというのに各地で夏日を記録しています。4月からこの暑さは夏が思いやられます。

そんな暑さの中新しい期に入り4月は定期昇給の月です。新聞やテレビのニュースでは、大企業で5%や6%で2000円を超える賃上げを実施している会社もあります。日本労働組合総連合会 いわゆる連合の傘下組合員で300人未満の中小企業1000労組では、賃上げ率は4.5%賃上げ額は、1207円アップとなりました。

この求人難の中、当社もこの数字に近い賃上げをしなければなりません。年間に見ると賞与と月分位の支出増となります。これはスポットの出費ではなく今後継続的に必要な支出となります。今年は休日も10日ほど増えるので、業務の効率化が必須です。

さて今回の「なんだ・かんだ」ですが、当社の社員の武田が当社入社前に九州熊本で働いていた時に遭遇した「熊本地震」の体験談を書いたブログが、是非皆様に読んで頂きたい内容だったので掲載いたしました。ご高覧願います。

代表取締役 服部 敏一郎

新入社員紹介

● 服部 潤次朗 ●

今年度4月1日より株式会社チキリに入社致しました、服部 潤次朗と申します。

静岡県沼津市出身、大学卒業後はトラスコ中山株式会社に入社し、1年間埼玉、3年間仙台で勤務しておりました。

学生の時に所属していた演劇部で舞台セットを作るのが楽しくて現在も年に数回友人の劇団の舞台セットを作るのが趣味となっています。

徐々に帰った沼津にて子供のころには見えるのが当たり前だった富士山が今ではとても美しく感じ、この景色がまた当たり前になってしまわぬように日々過ごしたいと思っております。

現在は先輩方と営業同行をさせていただいております。お客様の工場に入る度に大型の機械や製品に刺激を受け、お客様が求めている製品を的確に紹介している先輩達を見て早く追いつかなくてはと焦燥感を抱き、現場に納められているトラスコ製品やオレンジブックを見て頑張ろうと勇気づけられている毎日です。

とにかくまずは商品知識を身に付けているところですが、トラスコで培った経験や知識などもっている武器はすべて使い、一日でも早く会社に貢献できるよう努力してまいりますのでご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。



本レターのご提供に付きまして、ご不要・ご迷惑という方に付きましては、その旨ご一報頂きたいと思っております。次回からの発送を中止させていただきます。

株式会社チキリ

静岡県駿東郡清水町卸団地 73

Tel 055-971-9610 Fax 055-973-1534

E-mail ger@chikiri.com URL http://www.chikiri.com/